

発見と発展に満ちた インターンシップ

3回目となるインターンシップを実施。5泊6日の合宿形式で、11人の学生が全国各地から参加しました。このインターンシップの目的は、外部から活力を引き込み、未来へつなげる交流を創出すること。市内の視察や地域交流で市の現状を知ってもらい、より良いまちにするための政策を提示してもらいます。

外部からの視点を取り入れることができるのは、市にとって大きなメリットがあり、その価値は計り知れません。また、参加した学生は毎回高い満足度を得ており、「人生の転機になった」という声も多く寄せられています。インターンシップの中身を、参加した学生の声を中心にお届けします。

5泊6日の活動内容

最終日に発表する政策提言に向けて、3グループに分かれ毎日グループワークを実施。また、市長自らが、ロジカルシンキング、議論のコツなどをレクチャーしました。

プログラムスケジュール

	Day1 8/30(水)	Day2 8/31(木)	Day3 9/1(金)	Day4 9/2(土)	Day5 9/3(日)	Day6 9/4(月)
8:00						
9:00	グループワーク	グループワーク	グループワーク	グループワーク	グループワーク	
10:00	市長レクチャー		地域交流			政策提言
11:00	物事を論理的に捉えるプロセスを学ぶことができました。 早稲田大学 片沼 宗琉さん		酪農家・田島さんによる講話 酪農場視察	グループワークを進めるに当たり、既存の政策や制度を無数に調査しました。政治に関する報道を理解することが容易になり、政治への関心が高まりました。 千葉大学大学院 岩井 裕也さん		解散式
12:00		市内視察	酪農の現状に関する客観的・主観的な意見をバランスよく聞けました。 東京大学大学院 好永 り佳さん			
13:00	多くの方と交流し、市内を探索することで、市についてよく知れました。それを踏まえて施策を考えた時間は、充実したものでした。 九州大学大学院 井上 裕斗さん	サッカー公園 道の駅 三矢の里あきたかた 八千代町本郷地区		グループワーク		
14:00			ヒアリング 担当課より課題説明	プレゼンテーションの作法、文章の構成法は、就職活動で生かされると感じました。 広島市立大学 近藤 理沙さん		
15:00	自己紹介	市長レクチャー				
16:00		グループワーク	サンフレッチェ広島を通して市の魅力を体感し、良いまちにしたいというモチベーションが高まりました。 一橋大学 吉良 慶信さん			
17:00	市長レクチャー			自分と同じ夢を目指す人がいて刺激になり、尊敬できる仲間を見つけられました。夢に向けてすべきことの解像度が上がった気がします。 法政大学 前馬 結旗さん		
18:00						
19:00	神楽を地方行政という視点で考察するきっかけとなりました。 東京大学大学院 奥西 衛門さん	神楽鑑賞		このインターンシップのおかげで自分の軸が定まった気がします。今を悩む若者に、勇気を持って参加してもらいたいです。 三重短期大学 小倉 実珠さん		
20:00						

市の未来に真剣に向き合った政策提言

市の課題を抽出し、活性化に向けた政策を3グループそれぞれが提案しました。

Aグループ

テーマ 安芸高田市を「目的地型」の観光地へ
取り組み 宿泊施設の拡充やスポーツ合宿の誘致を実施。宿泊税を導入する。

ANSWER

宿泊者を取り込む周遊イベントを企画するなど、周遊性の向上を目指すことが重要と考えています。
[産業部 森岡部長]

合宿においては、平日稼働が低い施設とうまく組み合わせることを検討します。
[企画部 高下部長]

Bグループ

テーマ 農業分野の掘り起こしで持続可能なまちづくり
取り組み 大学や企業と連携し、経験を求める若者と、地域住民の交流を生むことで農業を求めた定住者の増加を促す。

ANSWER

大学発スタートアップに係る就農支援などの提案でしたが、本市では新規就農者への支援について、市単独の施策が少ないと思っています。提案を受け、他市町の状況を確認しながら、市独自の支援策を検討します。
[産業部 森岡部長]

Cグループ

テーマ 「広島県初シニアタウン」を作る
取り組み 健康な高齢者に移住してもらい、アクティブに田舎暮らしを楽しんでもらう。他自治体と連携することで転入者を増やし、人口減少に歯止めをかける。

ANSWER

シニア層を対象とした移住推進については、来年度から実施していけるように移住推進パッケージ(住居、仕事、趣味・やりがい)を現在検討しています。今回、この提案をもらったことで、実現させる気持ちをさらに強くしました。
[企画部 高下部長]

多くの学びがありました!

金沢大学 山本 大洋さん

政策に関する深い議論の中で、自分の考えの甘さと現在の立ち位置について知ることができました。

広島大学 竹下 翔真さん

ここまで深く地方自治体の将来を考えたことがなかったので困難を極めました。最終的には納得のいく発表ができて良かったです。

インターンシップOBが来てくれました

インターンシップ終了後も、市と学生たちの交流は続いています。



左/右代 朝陽さん (2022年夏参加 早稲田大学卒)
右/西 俊紀さん (2022年夏参加 九州大学4年)

学生たちが書いたコラムが読めます

インターンシップを終えた学生たちが、安芸高田市で感じたことや学んだことなどをまとめました。読み応えのあるコラムをぜひご覧ください。



学生たちのコラムはこちらから

